

# 公共下水道終末処理場

(県四之宮管理センター)

## 多目的広場等の整備状況聞く

**議員** 県民の飲み水として利用されている相模川の汚濁対策と周辺区域の生活環境改善を図るため、相模川流域下水道は、昭和四十八年に右岸処理場(四之宮管理センター)、昭和五十二年に左岸処理場(柳島管理センター)で処理が開始され、現在、九市七町を対象に県下水道公社が事業を実施している。本市域にある四之宮管理センターの処理場では、施設の上部活用として多目的広場等

の整備が続いているが、進捗よく状況と今後の予定について伺いたい。  
**下水道部長** 当初、水処理施設を一〇系列整備し、その上部を四之宮ふれあい公園として整備する計画で進めてきた。しかし、十五年度に流域下水道全体の汚水処理量の今後の見直しを検討した結果、七系列に見直すこととなったため、四之宮ふれあい公園も七系列までの上部利用に見直されている。現在は、第三系列までの

約二畝をテニスコート、多目的広場等として利用している。二十年度には、第六系列までの約五畝が公園として利用できる予定である。  
**議員** 相模川流域下水道では、新たな取り組みとしてサテライト水循環拠点モデル施設(四之宮せせらぎの森)を始めると聞くが、どのような事業内容なのか聞きたい。  
**下水道部長** このサテライト水循環モデル施設は、右岸処理場の処理水を高

性能の小型水処理施設により、高度処理した再生水に換え、これを水源としたせせらぎ水路を作り、その効果の検証を目的としている。この施設は、十六年度から県民に開放される予定である。このモデル施設は、水循環創出型流域下水道システムの普及啓発と水循環に貢献する下水道の新たな取り組みを広く県民に知ってもらい、下水道施設の役割を理解していただくものである。



平成16年6月末完成予定のアリーナ

と使用見込み時間から算出した額を基に負担率を三〇%として算出した額と聞くが、アリーナの年間維持管理経費、年間の利用者などの程度と見込んでいるのか。  
**都市整備部長** アリーナの年間維持管理経費は、約一億三〇〇〇万円を想定している。馬入ふれあい公園全体では、約一億四〇〇〇万円を想定している。  
**議員** アリーナの使用料設定に当たって、使用料の低かった見附台体育館の建て替え施設であること、駅から遠くなる立地等をどのように配慮したのか聞きたい。  
**都市整備部長** 使用料の金額設定に当たっては、見附台体育館の代替施設であるという側面と、より多くの市民が利用できる環境を作る中で、近隣の施設も参考に一定の受益者負担をお願いするという考えに基づいている。具体的には、総合体育館より安価にという方針から小中学生は無料、高校生・大学生も低廉とするなど共に付属施設の料金も無理なく使用していただく金額を模索してきた。



市道中堂16号線の改良工事

の検討段階から市民の目線や利用者の視点に立つ工夫や配慮が必要であり、その認識の共有化が最も重要である。それには、現状の道路の的確な把握が必要と考え、昨年十月に市内の道路調査を実施した。その結果、道路施策の取り組み方針としてシマ計画を策定し進めていく考えである。  
**議員** シマ計画とはどのような内容なのか。  
**道路部長** シマ計画は、湘南、平塚、みち、安心・安全プランの各頭文字を合わせたものであり、昨年十月に延長二〇〇以上の市道一一五二路線について、舗装の傷み等の路面現況調査を実施した。その結果に基づき、特に早急な補修工事等が必要な三九二路線を

概算事業費で約一九億円と見込んでいます。この経費については、基本的に一般の道路補修経費から約六割、特別枠から約四割を支出しようと考えており、現在、財政担当と協議中である。  
**国・県道の整備予定**  
**議員** 今後三年間で整備

を予定している国、県の各道路について概要を伺いたい。  
**道路部長** 国道は、市内に延長約二七キロ、四路線あり、国道一一九号では、交通量が多いことから沿線の騒音低減と走行の安全性を目標に高機能舗装を順次行っており、十七年度に市内区域の完成を目指している。また、国道一三四号では、国道一三〇号のバイパスとして新湘南国道との一体整備を行うこととしており、千石河原地区の用地買収は、おおむね完了している。未買収となっている

箇所は、相模川左岸側の一部であり、現在、国土交通省が交渉を鋭意進めているところである。県道については、市内に延長約四七キロ、一二路線あり、湘南新道の整備では市道馬入一線から国道一一九号までの区間に約十九年度の完成を目標に進めている。また、県道平塚港平塚停車場線については、駅南口から国道一一九号までの区間で電線地中化の整備を進めており、その他の県道も交通安全施設整備事業として歩道整備などに取り組まれている。

議員 昨年の六月定例会でコミュニティバスの運行を検討する旨の答弁がされ、十六年度の当初予算では、コミュニティバスの運行を検討する旨の答弁がされ、十六年度の当初予算

算では、コミュニティバスの運行経費として四〇〇万円が計上された。そこで、バスの運行路線は、どのような基準で選定していくのか聞きたい。  
**道路部長** 「いどばた会議」や市民の声等により要望のあった神田地区をはじめ、城島、岡崎、須賀、海岸地区等、それぞれの地区から市民病院までのルートおよび福祉会館や美術館等の公共施設を循環するルート等について、市内に設置した研究会やワーキンググループにおいて検討した。その結果、当面は医療機関

の不足を補う手段として、大神・田村地区から市民病院までの試行的運行とした。その後、状況を見ながら、研究会等でさらに検討していきたい。  
**議員** 試行運行の実施時期と経費の内容について聞きたい。  
**道路部長** 試行運行は平成十七年一月から三月までを考えており、四〇〇万円はバスの減価償却費、人件費およびバス停等の経費を見込んでいます。  
**議員** 運行内容について、詳細を伺いたい。  
**道路部長・交通安全課長** 今のところ、運行はバス事業者への委託を考えており、大神地区から市民病院までを一日二往復半運行する予定である。

時間帯は市民病院に受診することが可能な設定にしたいと考えている。また、大神方面から四之宮の交番寄りまでを乗降可能とし、駅は通らずに途中、共済病院で停車が可能か検討している。なお、車両は中型のノンステップバスを考えている。  
**利用者の運賃は**  
**議員** 利用者の運賃はどのように考えているのか。  
**交通安全課長** 三つの方法を検討しており、①ワンコインといわれている一〇〇円、②初乗り料金といわれている一七〇円、③距離併用という観点で四九〇円、これらを考えているが、今後、検討を進めていきたい。

# 市道の安全性の確保に向け5年計画で大規模補修実施

年度はどのような計画に  
よって道路施策へ取り組んでいく考えなのか。  
**道路部長** 基本的には安心・安全のまちづくりに向けて、道路施策や事業

対象として、十六年度から五年間で計画的に補修工事等を実施するというものである。この計画の特徴は、対象路線三九二路線、約七二〇か所の路面等の補修や改善について、通常事業との連携や分担を勘案しながら推進する仕組みとなっている。  
**議員** 約七二〇か所の路面等の補修に要する経費はどのくらいと予測しているのか。

馬入ふれあい公園アリーナ  
使用料設定の根拠尋ねる

コミュニティバス  
大神・田村地区～市民病院  
17年1月から試行運行

### 請願の審議結果

番号	件名	受付日	議決	状況
平成15年 請願第16号	2004年度の年金制度の改悪に反対し「最低保障年金制度の創設」等を求める請願	15.12.8	16.3.19	不採択
平成15年 請願第17号	2004年度の年金制度の改悪に反対の意見書提出を求める請願	〃	〃	不採択
請願第1号	「容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書」提出を求める請願	16.3.3	〃	継続審査
請願第2号	2004年度の年金制度の改悪に反対の意見書提出を求める請願	〃	〃	不採択
請願第3号	郵政公社の国民サービスの向上とユニバーサルサービスの確保を求める請願	〃	〃	不採択